

課題になっている行動 (気になる行動)

終わりなどの  
見通しを持ってない



監修・文 水野敦之 絵：宗貞由貴

環境・状況の要因	本人の特性	本人の経験や気づきの影響
<p>■ 様々な状況の変化 その時の指示や期待などが変わる。</p> <p>■ 影響を与える刺激や情報 本人がイメージできない曖昧な指示</p> <p>■ 必要な支援がない 見通しに関する指示がない。 「やめる」だけの指示だけで、 「これやっていいよ」の指示がない。</p> <p>□ その他</p> <p>■ 行動前の状況※ 「待ちます」という曖昧な指示</p>	<p>■ <u>受容コミュニケーションの特性：曖昧で抽象的な指示の理解が難しい</u></p> <p>■ <u>時間の整理統合の困難さ：次への見通し、切り替えが難しい。</u></p> <p>■ <u>空間の整理統合の困難さ</u></p> <p>■ <u>想像思考の困難さ：「やめなさい」で自分で次の見通しを想像することが難しい。</u></p>	<p>□ 習慣になっているものがある</p> <p>■ 自分流の気づき・考え方をもつ 曖昧な時間が続くと、適切ではない活動です。</p> <p>□ 過去に経験したこと学んだことを</p> <p>□ 過去に経験したことにより恐怖や嫌悪感をもっていること</p> <p>■ 行動後の状況・結果※ 待てずに静止される、混乱する</p>

活用できる他の資源	活用できる本人のスキル	活用できる本人の気づき
1対1で教えるエリアがある	絵、写真の理解できる 時間 (時計) の理解はある印をすれば時間の幅をりかいてできる。	

支援計画 ※支援の具体的な計画は自立課題シートで整理する方法もあります		
<p>環境を変える部分は？</p> <p>・本人が理解できる文章+絵や印で伝える。</p>	<p>本人の特性にあわせた支援は？</p> <p>・時計で終わりの時間を提示する。</p> <p>・1日の活動の見通し、選択肢をスケジュールやチョイスボードで提示する。</p>	<p>本人に伝える・教える部分は？</p> <p>・待つ時の過ごし方リストからの選び方を教える</p> <p>・それぞれの活動の時間を、1対1の時間で決める。</p>

解説と支援の方向性について

自閉症の人の中には、「ダメ」「やめなさい」をイメージすることが難しい方がいます。「ダメ」「やめなさい」が何をやめるのか、その後何をすればいいのかが難しいのです。本人に理解しやすい形で「やめる」「終わり」を伝える必要があります。YES、つまり「これやっていいよ」又は「次は〇〇」を伝えることが大切です。禁止の指導は、「終わり」「やめる」という意味から、「ダメ」という意味を教えていきます。